

第1回総合戦略推進アドバイザー懇談会議事録

日時	令和3年10月15日(金) 13時30分～15時23分
場所	生涯学習センター 203号室
委員	出席者 (敬称略) 【産】(株)フジイ 代表取締役 【官】岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター センター長 【学】中部学院大学短期大学部幼児教育学科 教授 【金】東濃信用金庫美濃加茂支店 支店長 【労】ハローワーク美濃加茂所 所長 【言】みのかもフリーペーパー歩好里人 代表
事務局	市民協働部 地域振興課

1 開会

2 あいさつ

3 総合戦略アクションプランの進捗状況について

【事務局】

・総合戦略アクションプランの進捗状況について説明をした。

【アドバイザーからの意見】

・美濃加茂市在住の学生がどのくらいいるかは分からないが、10代後半から20代の学生が何を考え、ふるさとどこに魅力を感じるか、また、働いている20代の方の考え方は違う観点があるかもしれないので、ニーズに合った支援を強化していけたら良い。

・学生は地元で就職したいという意向が強い、できれば実家から通いたいという声があり、意外とみんなふるさとが好きである。仕事の魅力とリンクしていくことができれば、良いのではないかと。今いる人がそこで働ける、そういうことにつながる事業だと良い。

・コロナは世界的なことなので、どこも同じように、思うように物事が進まない。その中で、違う手法で攻めていく必要がある。Webを使ったものは、移動時間がかからず、時間や場所も選ばない。そういった魅力を利用していくことが良い。

・子育てはやはり対面が望ましい。触れ合うことの大切さをなくしてはならない。

・子育て中の方や、赤ちゃんや子どもたちとの関わり方など、アプローチの仕方を臨機応変に考えていけると良い。そして、満足度を上げていって欲しい。

【事務局】

・若者がまちから学業等に出ていっても、また戻ってきてもらえるように今後も事業を進めていきたい。

【アドバイザーからの意見】

・姫 biz でも昨年度から男性のアドバイザーを配置したところ、男性相談者が増えた。年代、性別関係なく、だれもが活躍できる美濃加茂市をアピールすると良い。事業では女

性の再就職を取り上げるが、男性で働いていない方も非常に増えている。女性ばかりでなく、男性にも支援が広がると良い。

・子育ての方は子どものお迎えの時間に絶対に帰るので、逆算して仕事をし、活躍できている。

・雇用の受け皿が増え、地域に住むことにつながると良い。

・定年過ぎてから再就職をしたい方が増えている。まだまだしっかりと働きたいというニーズがある。

・仕事の選択肢も増え、簡単に稼げる仕事も出てきたので、苦勞して稼ぐことから離れがちでしょうか？なかなかの人手不足。

・女性が働きたいのは、10時～15時だったりするので、仕事をシェアするなど対策が必要である。

・企業側は大変ではあるが、その時期を乗り越えないと人は育っていかないので、勤務時間や作業分担を柔軟に対応する必要がある。

4 総合戦略アクションプランの追加事業『ヘルステック健康のまちづくり事業』について 【事務局】

・総合戦略アクションプランの追加事業について説明をした。

・県下どこの市町村も若い世代の特定健康診断受診率は低いが、特に美濃加茂市は若年層の低さが目立つ。令和元年度は県下ワースト2位、令和2年度は県下ワースト7位である。健康で働き続けられるためにも、40代50代の受診率を上げていきたい。そこで、対象者を40代50代としている。

【アドバイザーからの意見】

・ふるさと納税の返礼品に人間ドックがあり、とてもおもしろい。

人生100年時代は健康で長生きでいなければ充実したものにならない。今までの健康施策は、学齢期や青年期など分断されていたので、一体にみていくことは良いこと。

・40代50代は調子が悪くても無理をしがちな年代である。そのため、働き盛りに病気で倒れる方も多し。その年代に注目したことがとても良い。健康を意識してもらい、健康維持の習慣を身に付け、その後の人生を幸せに過ごして欲しい。

・特定健診受診率は、企業さんの受診率も含まれているのか？企業さんではほとんどの方が受診しているので、ワースト2位や7位というのが信じられない。

【事務局】

・企業さん以外にも、国民健康保険の方の受診が低くなりやすいが、美濃加茂市は外国籍の方も多いため、一概には言えない。

⇒アクションプランへの事業追加について反対意見はありませんでした。

5 地方創生推進交付金事業の評価について

【事務局】

・地方創生推進交付金事業の評価について説明をした。

対象事業は以下の4事業

- ・シビックプライドの醸成による定住促進事業
- ・女性が輝けるまちみのかも「Caminho(カミーノ)推進事業」
- ・グローバルな人材の育成を目指して「多文化共生推進事業」
- ・インバウンド推進による外国人材との共生と共創の事業

・シビックプライドの醸成については、アパレル企業のビームスさんが市内の産品、例えば市内のココウ珈琲さんのコーヒー豆と美光技研さんの研磨技術を見て、研磨技術で作ったコーヒードリッパーをコーヒー豆とセットでふるさと納税の返礼品にした。市内の産品をブラッシュアップして、ビームスさんの発信力を使ってPRして成果があった。

・インバウンドについては、外国籍の方が多く美濃加茂なので、彼らが観光の受け手となって活躍できないかと始めた事業であり、彼らに活躍の場を提供するという事業である。実際に観光の担い手であるホテルで勤務もしている。今後もカミーノアクションプランの推進のための事業にしていきたい。

【アドバイザーからの意見】

(シビックプライドの醸成による定住促進事業)

・特にありませんでした。

(女性が輝けるまちみのかも「Caminho(カミーノ)推進事業」)

・職業安定所として、コロナの影響で人ごみの中に行きたくない。お子さんがいると連れていくことも難しい、窓口に行きたくないといった声が聞こえた。オンラインでの相談も実施しているが、意識の相違もあり、窓口も重要である。

・募集側だけでなく、応募側も活発に動けなかった。

・直接会ってやり取りする場は必要であるので、状況をみながら、オンラインと組み合わせる活動していけると良い。

(グローバルな人材の育成を目指して「多文化共生推進事業」)

・外国籍の従業員の方が勉強熱心であるが、教育費や物価、習い事の費用が高く、ブラスの教育を受けられない。グローバルな人材の育成のためにも、美濃加茂市でどこか外国籍の方の支援活動や講座の開講などを行っているところがあれば教えて欲しい。

→多文化共生推進室では、行政が無料で日本語教室などを開講している。コロナ禍でもリモートで支援していたので、ぜひ従業員の方や周りの方に紹介して欲しい。

(インバウンド推進による外国人材との共生と共創の事業)

・特にありませんでした。

6 美濃加茂市女性活躍支援センターについて

【事務局】

・美濃加茂市女性活躍支援センターについて説明をした。

・令和4年1月移転オープン予定の新しいリオラについて説明をした。

【アドバイザーからの意見】

・SDGsにつなげていくアクションプラン、どの段階でも一つのライフサイクルで意識付けや

支援をしていて、大変すばらしい。職場でも女性の活躍がめざましいとの声を聞く。起業のための資金など、女性への融資が増えている。金融を通じて、支援に努めていきたい。

- ・リオラがここまで歩いてこられて、すべての内容を網羅した活動をしていて、素晴らしい。センターという場所ができることも大切だが、その中のソフト面、どういう支援をしていくか、そこがとても充実していて、素晴らしい。
- ・新リオラでは、女性の健康の相談とか、女性ならではの支援も広がると良いかなと思う。

7 閉会